

(株)中広

岐阜市・広告

従業員数／男性134名 女性306名 計440名 ※令和6年11月現在

エクセレント
POINT

- ①女性が活躍できる環境の整備により、高い女性就業率を実現
- ②自身の資格を活かせる資格手当創設
- ③えるばし2つ星・くるみん認定



プロジェクトチームは待遇や福利厚生、労働条件等の改善を提言する。

中広は女性が働きやすい職場をつくるため、プロジェクトチームを設置し、女性活躍やWLBに関する改善策を提言してきた。その提言から、両立支援制度の周知やインフルエンザ予防接種の補助などを実現。2016年には「えるばし2つ星」、17年には「くるみん」の認定

15年以降は、在宅勤務などを認めるテレワーク制度を導入し、利用者からは通勤時間が削減され、「業務効率化や生産性が向上した」と好評だ。

さらに復職した社員を中心に、社内グループウェアを活用した掲示板を設置し、社員間のコミュニケーションを促進。イベントセミナー部の伏屋友美子さんは、育休

中の「復帰を見越して会社とのつながりを持ち、常に情報を共有したい」と感じた経験をもとに育休中でも社内グループウェアに参加できるよう整備した。

現在はプロジェクトチームと衛生委員会を統合し、毎月1回開催する衛生委員会の中で、より働きやすい職場となるよう協議を続けて

いる。また育児休業復帰者には、6歳に達する年度の3月まで「幼児保育手当」を支給。看護休暇は小学校就学前から小学校6年生修了まで拡大。育児時短勤務も、14年から小学校6年生修了まで延長したこと、出産や育児を理由とした離職者はゼロとなった。短時間勤務を利用するグループ戦略統括事業部の堤麻里子さんは「出退勤が30分違うだけでも助かる」と話す。

中広は女性が働きやすい職場をつくるため、プロジェクトチームを設置し、女性活躍やWLBに関する改善策を提言してきた。その提言から、両立支援制度の周知やインフルエンザ予防接種の補助などを実現。2016年には「えるばし2つ星」、17年には「くるみん」の認定

15年以降は、在宅勤務などを認めるテレワーク制度を導入し、利用者からは通勤時間が削減され、「業務効率化や生産性が向上した」と好評だ。

さらに復職した社員を中心に、社内グループウェアを活用した掲示板を設置し、社員間のコミュニケーションを促進。イベントセミナー部の伏屋友美子さんは、育休

中の「復帰を見越して会社とのつながりを持ち、常に情報を共有したい」と感じた経験をもとに育休中でも社内グループウェアに参加できるよう整備した。

現在はプロジェクトチームと衛生委員会を統合し、毎月1回開催する衛生委員会の中で、より働きやすい職場となるよう協議を続けて



新しいオフィスで仕事に取り組む社員。

現場の声から多彩な制度確立

を受けている。